

マニフェスト評価・総務部門

テーマ	マニフェスト記載(原文)	点数 評価	検証 可能性	妥当性 的確性	優先 順位
1	時代の変化を先取りした課題発見、問題解決型行政を首長のリーダーシップの下に確立(取り組み) 新規取り組みはない。横断的取り組みを目的に設置した次長会議を廃止した。	10	×	○	○
2	市民からの要望、苦情には必ず返答します。原則10日以内。(取り組み) 以前から対応していたが特段の改善は見られず場合によっては返答が半年以上もかかっている。	0	○	○	○
3	入札「参加業者選定過程の透明性を確保するため、指定委員会の議事録(逐語)を作成し、情報公開します。(取り組み) 以前はやっていなかった。入札自体に問題があった。効果は疑問がある。	50	○	○	○
4	外部委員による入札監視委員会を設置(取り組み) 以前はなかった。設置を評価するが不透明。人選に問題あり。	30	○	○	○
5	市長室を公開します。(取り組み) 延べ10回で41人の参加。評価すべき効果は見当たらない。何のためにやったのか不明。実現したことは評価。	40	○	×	×
6	公用車利用を純粋な公務に限定。お迎え廃止、車種もエコカーに。(取り組み) エコカー実施は評価。お迎え廃止は安全管理上とは言うがまったくできなかった。公用車の運転手の残業代が390万円が全て効用とは認めにくい。	40	○	△	△
7	審議会、委員会を全て見直し、委員を公正に選任し、市民公募委員を多く選任いたします。(取り組み) なにも実績がない。見えない。	△	○	○	
8	市民が重要政策に立案や業績評価に意見を言えるようなシステムを作り、重要政策について計画作成段階で情報開示を進める(取り組み) 新規に着手したもの(パブリックコメントの条例化)もあるが、まだ、評価に値しない。	30	○	○	○